

令和4年度執行部表敬訪問

日時: 令和4年4月11日(月) 場所: 高知県庁、高知市役所、高知商工会館

令和4年4月11日(月)に、高知県庁、高知市役所、高知商工会議所をそれぞれ表敬訪問させていただきました。高知県知事濱田省司様、高知市長岡崎誠也様、高知商工会議所会頭西山彰一様へ武田弘己会長より令和4年度の事業方針を説明させて頂いた後、各副会長より担当委員会の事業内容を説明させていただきました。



令和4年度4月新入会員オリエンテーション

日時: 令和4年4月13日(水) 場所: 高知商工会館

令和4年4月13日(水)に、高知商工会館にて令和4年度4月新入会員オリエンテーションが行われました。冒頭より武田会長からの挨拶に続き岡本専務理事によるYEG組織構造、歴史及び活動内容に関する説明を受け、OB会副会長の川北先輩より激励の言葉も頂戴しました。新入会員となる9名は新星委員会に所属してYEG活動を開始します。今後のYEGでのご活躍を期待します。



令和4年度通常会員総会

日時: 令和4年4月18日(月) 場所: 高知商工会館

令和4年4月18日(月)に、高知商工会館にて令和4年度通常会員総会が行われました。まず、令和3年度事業報告案及び収支決算案について、令和3年度各委員長の報告及び令和3年度堤専務理事の説明がなされました。その後、審議された結果、満場一致で承認されました。続いて、令和4年度年間事業計画案及び収支予算案が、令和4年度各委員長及び令和4年度岡本専務理事から説明されました。その後、審議された結果、こちらも満場一致で承認されました。また、新入会員入会式が執り行われ、9名の会員を新たに迎え総勢140名となりました。これをもちまして、武田弘己会長を筆頭とする令和4年度が正式にスタートいたしました。改めまして、皆様どうぞよろしくお願いいたします。



令和4年度高知商工会議所青年部専務理事

岡本 元

<勤務先>株式会社マルゲン建設 代表取締役
<営業品目>各種仮設足場工事・建築物解体工事
土木工事等



「お前が専務理事?大丈夫か?」と多くの方々にこう言われました。

本年度の抱負をお願いします。

最初は自分でもそう思いました(笑) これまで先輩方に甘え可愛がってもらっていい思い出が溢れていますが、平成28年度に入会して早7年目、気付けば中堅どころとなりました。これからの高知YEGの在り方を考えた時に、残り10年在籍する自分が組織の核の部分を知り、自覚をもってやらなければならないと覚悟を定め取り組んでおられます。高知YEGの全事業はもちろんのこと、目前に迫った令和5年度全国会長研修会高知大会開催に向けしっかりと足場を固めるため、全体把握し進めていかななくてはなりません。専務理事として、あまり前面にでることはありませんが、しっかりと下支えしてまいります。

そして今年度も引き続き新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けることになろうかと思えます。令和2年度以降、「不要不急」という言葉に括られ活動休止やイベントの中止など、自分たちの正義を別の正義で失う辛さに直面してきました。自分たちのしていることは、不要不急なのか? そう自問自答したこともありましたが、今はつきりと言えることは「必要不可欠」であるということです。今後どのような波が来ようとも決して歩みを止めることなく、情熱を原動力として使命感を持って行動してまいります。

【高知YEGに育ててもらった感謝】これに尽きます。

26歳で独立して一人で始めた事業でしたが、お陰様で今年度法人設立5周年を迎えることができました。決して順風満帆ではありませんでしたが、社業と並行し一生懸命YEG活動している仲間から毎回大きな刺激をもらい、切磋琢磨することで会社も身体も大きく成長させていただきました。

冒頭の通り、専務理事の職を仰せつかるにあたり多くの方々の不安な気持ちにさせるほどの人間でありましたが、入会2年目からずっと役員をさせていただき、それぞれの立場から様々な経験をさせていただきました。勢いだけで突っ走り、お叱りを受けることの方が多かったように思いますが、その度に視野も広がり、自分なりに解釈し社業に生かすことが出来ております。コロナ禍となり、改めてYEGの存在価値、所属する意義を再確認しました。人脈形成はもちろんのこと、かけがえのない仲間と過ごしてきた時間は自分自身の今を形成している大事な礎であります。

7年前には想像もできなかった未来に立たせていただいていることに、そして関わってくださっているすべてのの方に感謝し、高知

青年部に入会して良かったことは何でしょうか

最後に一言お願いします。

YEGへの恩返しとして今後10年間、月曜日の夜は全てYEGに捧げる覚悟です(笑)

武田会長より専務理事を引き受けてくれと言われたときは、躊躇しました。しかしこの機会を逃すと、もう声がかかるともないのだらうと思ひ引き受けさせていただきました。これまで経験のない事務方の役職ではありますが、今後のYEG活動に、自分自身の人生においても間違いなく役に立つ経験だと感じております。自分の限界を設定することなく、与えていただいた役割を精一杯務め、円滑な組織運営に貢献してまいりますので、以前にも増してのご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

